

## 平成 20 年度夢づくり協働推進事業の実施状況 15

### 事業名

地域食育推進活動

### 事業の概要

総社市栄養改善協議会を食育推進モデル地区として指定し、昨年度、山手地区で実施した食育の実践を市全域に広げるよう取り組んだ。また、引き続き「山手地区食育をすすめる会」において地区活動を実施した。特に平成20年度は、学校と連携して子どもたちに朝食メニューを募集し、入賞作品を学校給食や地域の飲食施設で取り上げるなど地域ぐるみで食育に関する事業を実施した。

### 協働の主体、役割分担

協働の主体	役割分担
倉敷保健所管内食育推進協議会 (地域の健康づくりボランティア、教育関係者、栄養士会、医師会、農業協同組合、栄養学学識経験者、行政、倉敷保健所等で構成 19人)	管内の食育活動の企画 事業実施協力 情報交換、情報発信 事業評価
総社市栄養改善協議会	事業の企画、実施 (食育推進モデル地区事業全体調整)
山手地区食育をすすめる会 (総社市山手地域づくり協議会、総社市山手地区社会福祉協議会、総社市山手小学校、総社市老人クラブ連合会山手支部、山手地区愛育委員協議会、山手地区栄養改善協議会他 10 団体)	事業の企画、実施 (総社市山手地区での食育活動)
県民局 (倉敷保健所)	事業の企画、実施、評価 (関係機関との調整等) (食育推進協議会の招集) (山手地区食育をすすめる会との連携、協働、支援及び会議の進行調整) 事業の総合評価

## 実施状況

### 1 倉敷保健所管内食育推進協議会の開催

総社市栄養改善協議会が全市的に食育推進を図るため作成した冊子「そうじゃの味」や平成19年度からの食育推進モデル地区である総社市山手地区における「山手地区食育をすすめる会」の取組報告のほか、各団体の食育推進活動についての意見交換を行い、平成21年度の食育推進の課題や方向性について検討を行った。

### 2 総社市栄養改善協議会における食育に関する活動

総社市栄養改善協議会は、17地区の栄養改善協議会が地域で草の根の栄養改善活動を行っており、平成19年度に食育推進モデル地区とした山手地区の食育活動を総社市全体に波及させるための取組の一つとして総社の伝統の味、地域に根付いた料理等を掘り起こし「そうじゃの味」として冊子にまとめた。

また、山手地区では「山手地区食育をすすめる会」を中心として地域に根付く食育を目指して活動を継続している。

#### (1) 冊子「そうじゃの味」の作成

それぞれの家庭や各地区で昔から作られていた行事食や郷土料理が、核家族化や食に関する意識の変化などにより伝承されにくくなっており、これらの料理が作られる機会は総社市においても減少している。後世に伝えていきたい料理を季節ごとにその地域で収穫された食材を使用し、作り方、分量などを整理し、写真を添えて冊子にまとめ、普及を図ることにより、食文化の伝承や地産地消の推進を行った。

#### (2) 山手地区食育をすすめる会の活動状況

食育関係16の団体・機関・行政で構成され、山手地区の食育を核となって推進している。

##### ①「わが家のイチオシ朝ごはん」(朝食メニューコンクール)

平成19年度に実施した、食生活実態調査結果をもとに、子どもたちの朝食を充実させるため実施した。コンクールの入賞献立は平成21年2月5日の学校給食のメニューとして全市に普及するとともに山手地区内の「もてなしの館」で定食として平成21年2月9日～13日に紹介された。

また、リーフレットにまとめ、朝食充実のための資料として配布を行った。



##### ②地区内で行われるイベントへの参加及び他団体組織との連携

吉備路商工会主催の山手地区「ドリームフェスタ」において子どもたちが自分で野菜入りホットケーキを焼くコーナー設け、自ら作ることの楽しさを学ぶ場の提供を図った。



ホットケーキ作ったよ

(3) 山手地区公民館まつり

イベントスペースを設け、大人向けには食育SATシステムを使用し、食事のバランスを診断した。

子ども向けには食育クイズを行い地域の食材への理解を深めた。また、手洗いチェッカーやATPを利用し正しい手洗い方法の体験や食育紙芝居を上演した。

これらを通じて食への関心や自分の食生活を振り返る機会の提供、衛生意識の向上などを図った。

また、地域の食材を中心とした食事バランスガイドのタペストリーを作成し、展示を行った。



食育SATシステム体験

(4) 山手地区健康福祉フェア

「わが家のイチオシ朝ごはん」優秀者の表彰を行った。また、選ばれた朝食メニューのなかから菜めしとミネストローネの試食を提供した。また、朝食メニューのアンケートでは食べてみたい朝食や普段食べている朝食に近い物などを回答してもらい、みんなで朝食を考えるきっかけとした。食育SATシステムによる食事バランスチェックも行った。



わが家のイチオシ朝ごはん試食

(5) 小学生の食育体験事業

備南食品衛生協会と共催し、山手小学校の子どもたちを中心に手打ちうどん作り及び工場見学、カルピス工場見学、食の科学実験などを通じて食の安全・安心についての理解を深めた



手打ちうどん作り

(6) 幼稚園における料理教室

親子でクッキングでは園庭で収穫したさつまいもを使い、栽培工程から調理までを楽しみながら体験した。3世代もちつきなど家族揃っての活動を通じて行事食に対する理解を深め、園児に対する食育を推進した。

① 保育園における料理教室

食育講演会は栄養改善協議会が担当した。桃狩りを行い地域の食材への理解を深めた他、園庭で育てた野菜等を調理することにより栽培工程から調理までを楽しみながら体験した。また、もちつきでは老人クラブと連携して事業を行った。親子クッキングでは親子で食事を作ることで食に対する関心を高めるなど、いろいろな事業を通じて園児に対する食育を推進した。



親子でカレーづくり

②愛育委員会、栄養改善協議会、母子クラブによる親子料理教室  
健康づくりボランティアである愛育委員、栄養委員と母子クラブが合同で調理実習を行い、幼児に対する食育を推進した。

③愛育委員会、栄養改善協議会合同の生活習慣病予防教室  
愛育委員と栄養委員が合同で生活習慣病予防教室を開催し、健康的な食生活の普及を行った。

④商工会による独居老人ふれあい事業  
吉備路商工会女性部が地域の独居老人を対象に寿司などを提供し、食事を楽しむ会を開催した。



独居老人ふれあい事業

## 成果・効果

- 1 「そうじゃの味」の作成について  
冊子を作る過程において、調理方法や使用する食材などを栄養委員同士が再確認でき、伝承をすることや来年度の普及に対する意欲が高まった。
- 2 山手地区食育をすすめる会の活動について
  - (1) 種々のイベントに参加することにより食育の推進を図ることができ、また、「山手地区食育をすすめる会」のPRができた。
  - (2) それぞれの構成団体の活動に加え、協力や協働で行えるものは情報交換をしながら共に取り組むことにより効果的に実施をすることができた。
  - (3) 「わが家のイチオシ朝ごはん」ではコンクール献立が学校給食として、全市に紹介されることや「もてなしの館」で定食として一般に提供していただくなど、地域への広がりが出ている。
  - (4) 2年間のモデル地区活動を行ったことにより、「山手地区食育をすすめる会」として、今後、食育事業等を企画し提案をしていく案が出ている。保健所には側面からの技術的、専門的支援（情報提供、話し合いの場の設定等総合調整）が求められている。